

2019年度(令和元年)収支決算報告(概要)

(1)2019年度は、高齢者福祉事業グループが、事業の課題を明確にして取り組み、慢性的な介護職員の要員不足にあっても、職員体制を整えて、より一層の寄り添いのケアを実践しました。また、認可保育園として2年目の保育園事業は、保育士態勢も安定し、寄り添いの保育を行うことができました。
 ①特養は、終の棲家としての「着取りのケア」を、家族会とともに意識を共有し、継続して実践しました。また、通所介護の「やまざくら」「りんどう」については、併設のケアが行き詰まる中、7月より新たな通所介護「やまざくら」として再出発しました。多機能型の「あじさいの家」は、職員態勢を整えて、地域にある多機能な介護事業所として利用者数が安定してきました。②軽費老人ホームは、入居者の高齢化・重度化(認知症)が進む中、終の棲家になり得ない限界を抱えながら、可能なかぎり生活支援を行いました。③お祭り保育園は、園庭がない中で、鎌倉の風土を体験する多様な野外活動を行い、そして、はじめての次運動会を保護者とともに、軽費老人ホームの入居者有志が応援に参加し、御成小学校体育館で開催できました。

(2)2019年度の法人全体(軽費老人ホーム・介護保険事業・保育園)の収支決算(1:前年度)は、▲8.9百万円(▲12.3百万円)の赤字の収支決算となりました。
 内訳は、特養他介護保険事業グループ全体は▲14.1百万円(▲6.7百万円)、軽費老人ホームは▲6.0百万円(▲8.1百万円)、保育園は+3.1百万円(▲5.3百万円)、法人は大口寄付金により、+8.6百万円(+7.9百万円)となりました。
 特に、特養他介護保険事業においては、特養(長期・短期入所)が▲3.6百万円(▲2.1百万円)、通所介護(やまざくら・りんどう)が▲15.9百万円(▲9.2百万円)、小規模多機能(あじさい)が▲0.9百万円(▲2.0百万円)、3事業で計▲20.4百万円(▲13.3百万円)の赤字となりました。

(3)年度途中の第4四半期から始まった新型コロナウイルス禍は、日本に世界に拡大し、その防止策の1つとしての外出自粛により、短期入所、通所介護の利用者が減少して、収支改善の取り組みに水を差し、赤字の上乗せになってしまいました。

(4)2020年度に入り、国の『緊急事態宣言』が発令され、その自粛が続いており、感染リスクを負いながら事業運営に困難が感じています。
 いずれにしても、2020年度は、経営理念のもと、お一人おひとり様を大切に、おめでとく祝福されて始まり、ありがとうございますと感謝して終わる健やかな人生の営みを支え、それぞれの事業計画に取組み、収支改善を確実にものにして、事業継続をして、多様に積極的に展開して社会貢献を前進していきたい。

社会福祉法人 鎌倉詩養館 理事長

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	321,515	流動負債	217,462
現金預金	42,684	事業未払金	27,970
事業未収金	90,740	1年以内返済予定リース債務	1,828
未収金	253	職員預り金	1,000
立替金	51	拠点区分間借入金	186,261
前払費用	1,976	未払費用	403
拠点区分間貸付金	186,261		
徴収不能引当金	▲450		
固定資産	526,830	固定負債	37,183
基本財産	175,776	リース債務	4,670
建物	175,776	退職給付引当金	32,513
その他の固定資産	351,054		
建物	66,858		
構築物	17,754		
機械及び装置	2,693		
車輛運搬具	1,698		
器具及び備品	17,973		
権利	32,499		
無形リース資産	4,059		
退職給付引当資産	32,513		
長期前払費用	711		
社会福祉事業積立資産	110,000		
関・浅見記念基金積立資産	16,596		
軽費事業運営積立資産	47,900		
資産の部合計	848,345	負債及び純資産の部合計	848,345
		負債の部合計	254,845
		純資産の部	
		基本金	16,901
		国庫補助金等特別積立金	147,640
		その他の積立金	174,486
		社会福祉事業積立金	110,000
		関・浅見記念基金積立金	16,596
		軽費事業運営積立金	47,900
		次期繰越活動増減差額	254,664
		(うち当期活動増減差額)	(▲8,335)
		純資産の部合計	593,700

資金収支計算書

(自2019年4月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動による収支	
介護保険事業収入	528,086
老人福祉事業収入(軽費)	127,710
保育事業収入	91,322
その他の事業収入	1,327
経常経費寄附金収入	11,180
受取利息配当金収入	12
その他の収入	6,454
事業活動収入計(1)	766,091
人件費支出	544,921
事業費支出	117,270
事務費支出	91,468
その他の支出	3,197
事業活動支出計(2)	756,856
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	9,235
施設設備等による収支	
施設整備等補助金収入	9,897
固定資産売却収入	14
施設整備等収入計(4)	9,911
固定資産取得支出	18,017
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,828
固定資産除去・廃棄支出	45
施設整備等支出計(5)	19,890
施設設備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲9,979
その他の活動による収支	
積立資産取崩収入	29,167
拠点区分間繰入金収入	2,000
サービス区分間繰入金収入	20,863
その他の活動収入計(7)	52,030
積立金支出	28,223
拠点区分間繰入金支出	2,000
サービス区分間繰入金支出	20,863
その他の活動による支出	711
その他の活動支出計(8)	51,797
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	233
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲511
前期末支払資金残高(12)	106,842
当期末支払資金残高(11)+(12)	106,331

事業活動計算書

(自2019年4月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動増減の部	
介護保険事業収益	528,086
老人福祉事業収益(軽費)	127,710
保育事業収益	91,322
その他の事業収益	1,437
経常経費寄附金収益	11,180
その他の収益	0
サービス活動収益計(1)	759,735
人件費	547,177
事業費	117,270
事務費	91,468
減価償却費	29,982
国庫補助金等特別積立金取崩	▲14,673
サービス活動費用計(2)	771,224
サービス活動増減額(3)=(1)-(2)	▲11,489
サービス活動増減の部	
受取利息配当金収益	12
その他のサービス活動外収益	6,344
サービス活動外収益計(4)	6,356
その他のサービス活動外費用	3,197
サービス活動外費用計(5)	3,197
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,159
経常増減差額(7)=(3)+(6)	▲8,330
特別増減の部	
施設整備等補助金収益	9,897
固定資産売却益	14
拠点区分間固定資産移管収益	404
拠点区分間繰入金収益	2,000
サービス区分間繰入金収益	20,875
その他の特別収益	27
特別収益計(8)	33,217
固定資産売却損・処分損	45
拠点区分間繰入金費用	2,000
サービス区分間繰入金費用	20,875
拠点区分間固定資産移管費用	404
国庫補助金等特別積立金積立額	9,897
特別費用計(9)	33,221
特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲4
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲8,334
繰越活動増減の部	
前期繰越活動増減差額(12)	259,798
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	251,464
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	16,200
その他の積立金積立額(16)	13,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	254,664